



広報

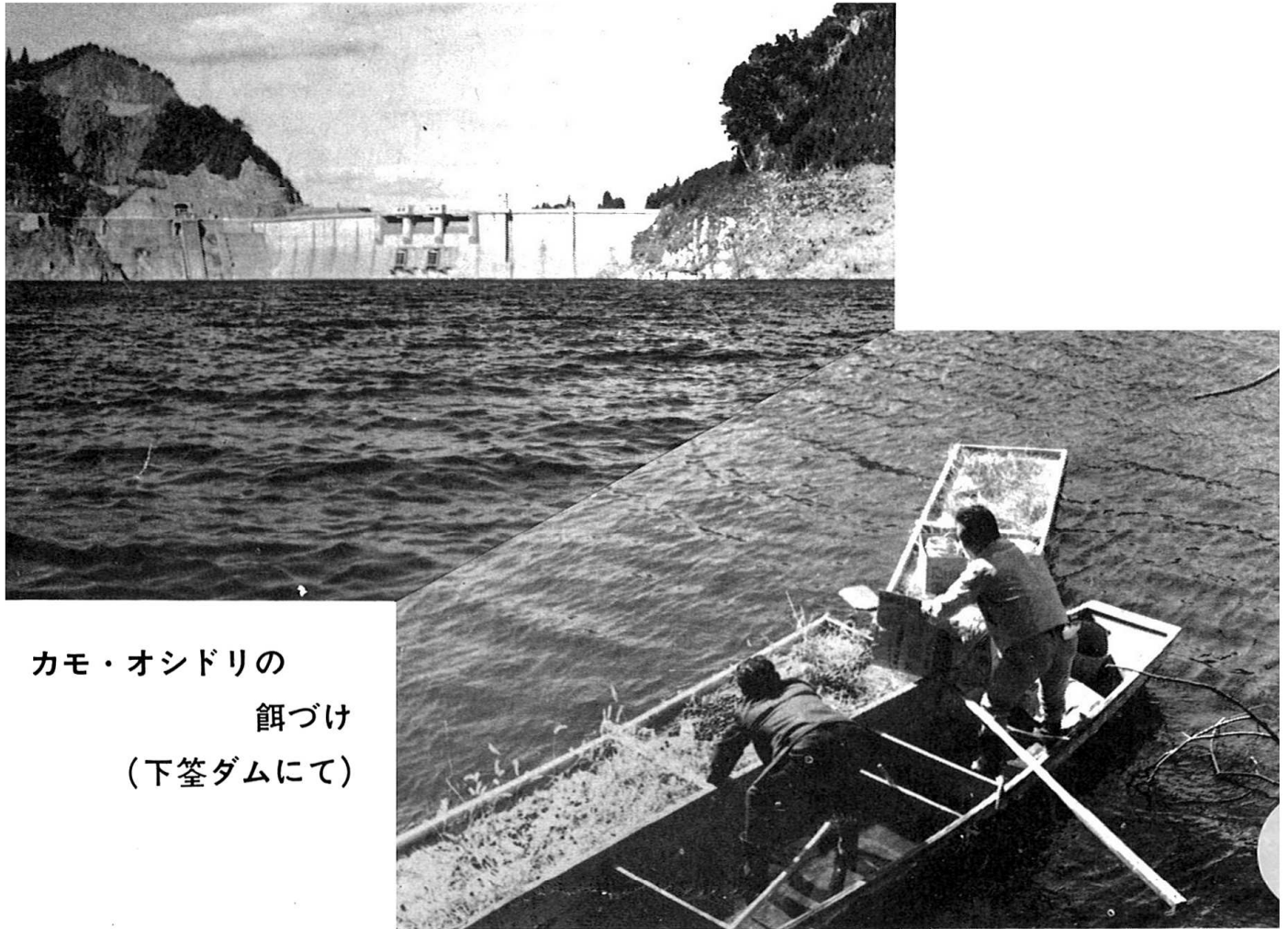
なかつえ

50年12月号

第144号

発行所
編集発行人
大分県・日田
中津江村

斉藤隆一



カモ・オシドリの
餌づけ
(下釜ダムにて)

人口の動態

昭和50年11月30日現在

人口	2,405人
男	1,140人
女	1,265人
世帯数	614戸

〈今月の主な内容〉

- P 2 農事放送施設
来年から放送開始
- P 3 文化財を破壊から
守るために
- P 4 50年をふりかえって
- P 5 お知らせ
- P 6 村のアルバム
文化財紹介

- 22日 冬至
- 24日 各小中学校終業式
- 27日 官庁御用納め
- 31日 大晦日

〈今月の行事〉

農事放送施設十二月完成

新年から放送開始

山村地域農林漁業特別対策事業の昭和五十年年度事業で実施している農事無線放送施設は、工事着手以来順調に進み、工期どおり十二月末に完成します。施設の完成に併せて放送業務の準備にピッチをあげ、一切の業務を整え新年から放送を開始する運びとなりました。

放送運営に必要な要項を定め、放送局を設置して放送業務の管理運営にあたることにしています。

放送の業務については、いずれ詳細をお知らせしますが、概要を説明すれば、放送は緊急放送、定時放送と二別し、定時放送は農事放送と行政放送、その他の放送です。

放送業務はこの村では初めての事業であり、機械器具操作技術の取得、放送技術の訓練、アナウンスの研究等、いずれも未知の作業に取組むもののほか、放送業務を運営するための事務処理と管理態勢措置が必要です。本業務の運営にあたっては、別に構成する「農事無線放送運営委員会」を設置し、「中津江村無線放送設備取扱規程」のほか、

放送は公民館に設置した放送室から放送された音声で、村内各地に建てられた四十一ヶ所のパンザーマストのスピーカから村内全域に一斉に放送されます。また必要な地域にだけ放送する場合は、地域呼出しにより各部落ごとに放送されます。

なお、この放送施設は一方通行の放送ですから往復放送はできませんが、地区内(部落)の放送はできま

す。パンザーマストについている屋外収容箱の中にあるマイクで、その地区内に放送することができます。部落員、生産班長の方々は、自分の地区内に通達するのに十分活用してもらいたいと思います。いずれ放送開始前に部落員の方はお集まりいただき、放送業務についての概要とパンザーマスト及び維持管理、地区内放送マイクの使い方等について説明して、屋外収容箱の

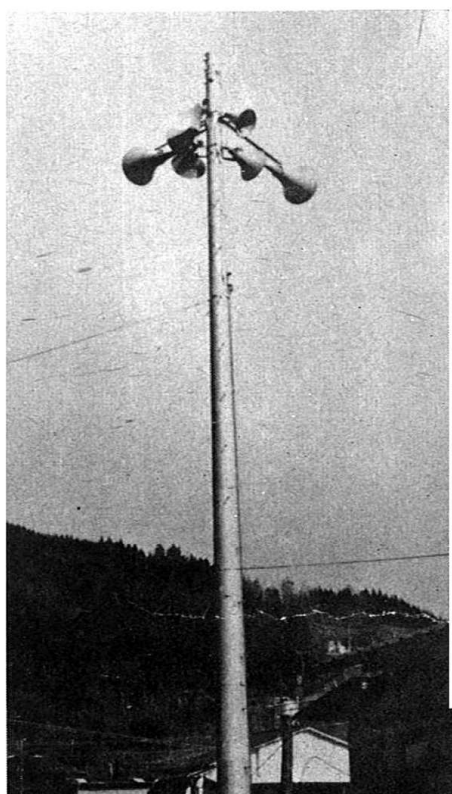
鍵を部落員さんに渡し、保管していただくこととなります。

農事放送施設は、村内各位のご理解により用地の無償提供、既存施設の利用承認等、あらゆる面において協力とご支援をしていただきましたので、支障なく予定通り完成しましたことと深く感謝するとともに、先に述べたように初めて実施

する事業ですので、最初は何かと不備不整の点があると思いますが、放送局もこれから十分研究、訓練し、放送を通じて行政と住民、農協と農家をつなぐ重要なパイプ役としての放送業務の発展向上に努めたいと思いますので、住民各位のご協力をお願いして、放送施設の完成と新年度放送業務の開始をお知らせします。

◀村内41ヶ所に建てられたパンザーマスト

▼公民館に設置した放送室



村長選は無投票当選となり、村議会議員は定員十二名に対し、十四名が立ち、投票をおこない、四年間、村民の期待をになう新議員が誕生した。

なお投票率は九十六・〇六％でした。

3 農事放送 施設完成 (12月)

村内四十一ヶ所にパンザー・マストをたて、公民館に設置した放送室から、緊急放送、定時放送と分け放送されます。今月末に完成し、いよいよ来年から放送されますが、行政と住民、農協と農家をつなぐ重要なパイプ役として期待されます。詳しくは二ページに書いています。

4 国勢調査 (10月)

昭和五十年十月一日現在の人口二千四百四十人。予想として二千人以下になるのではという言葉をよく聞いたが、その予想は上回ったものの、前回(四十

五年国調)につづき、今回も県下一の減少率(二十五・四%)となった。昭和四十年には四千四百四人いたのが、今ではその半数以下という現実。次回(五十五年)にはどのくらいになっているかと思えますかと五人にたずねたところ、千八百人前後が三人、二千人という人が一人、千五百人という人が一人、さてあなたはどうか。どうお思いでしょうか。

5 中学校 統合 (8月)

長年課題になっていた上津江村、中津江村の中学校統合問題が、両村の長期総合教育計画審議会の答申をふまえて両村の教育委員会、村執行部や中学校組合議会の議員さんなどで話し合いが持たれ、統合を推進するということになりました。それを受けて両村共中学校統合を進めるために村の関係者によって管理者協議会を開き、両村の中学校統合に対する基本的な事項の確認や計画を審議してきました。その計画を中津

江村では八月に、上津江村では十一月より村民の方々に理解していただくために説明会が開催され、中学校統合問題が具体的に動き出したことは今年の中津江村の大きなニュースではないかと思えます。

6 奥日田スーパードロイング工 道着工 林 (8月)

特定森林地域開発林道として計画された奥日田スーパードロイングは、昭和五十年より事業開始となり関係一市三村の内、前・上・中津江村の各村それぞれの工区において工事に着工し、五十四年度の完成を目ざして着手されました。

中津江村の工事場所(鯛生第二工区)は八月五日すでに着工しており、初年度工事延長五百四十三延、工事費二千七百万円の工事も十二月末をもって完成し、追加工事となった五百四十七延、二千七百七十一万円の改良工事も来年三月までに完成し、五十一年度もつづいて二工区ないし三工区の事業が予定されています。

軍人恩給の請求、申告を!!

右記についてもとの軍人で次の要件に該当の方は請求して下さい。

※一時恩給の支給要件

現役または応召等のために一回の在隊期間が実役三年以上の旧軍人の方ただし次の方は請求できません。

(1)普通恩給(扶助料)としての年金を現に受給している方。

(2)以前に一時恩給または一時扶助料を受けたことのある方(ただし下士官以上として一時恩給を受けたことがあるが、ほか兵等として別に實在職年三年ある場合は請求できません。)

(3)軍人期間を推算して、共済年金等、恩給を受給している方。

(4)現役または応召等が数回あり、その実役全部を加え三年以上あっても請求はできません。一回の在隊実役が三年以上必要です。

※加算改定請求要件

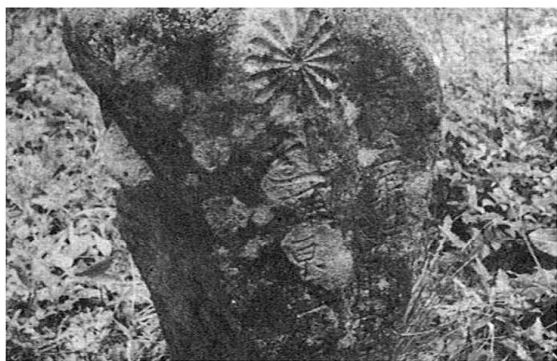
もと軍人等で、現に普通恩給を受給中の方で満六十五才以上の方は戦務加算等を算入した普通恩給年額が増額改定されますので、該当と思われる方は現在の恩給証書、印鑑、申告書(用紙は役場にあり)を持参して請求してください。

なお満七十才以上の方で扶助料受給中の妻子の方に昭和四十八年十月から改定額が支給されていますので請求もれの方は申告してください。

以上、請求、申告について該当と思われる方は、軍人関係の書類はすべて持参してください。

消防団出初式は八日に

中津江村消防団の出初式が一月八日、午前九時三十分より中津江中学校グラウンドで行なわれます。当日は機動隊、各分団の操法訓練、放水訓練、また永年勤続者、功労者等の表彰が行なわれますので、是非ご観覧下さいませようお願いします。



祝川は大字合瀬の番地の始まっている所で、以前は二、三戸人家があったが、現在は見捨てられて人影はなくなっている。

この部落は津江由来記の中に、岩井川猿平の名が出てくるところからみると相当地い部落と思われるが、部落の東側墓地に菊の御紋章の入った墓石が立っている。明治以前に菊の御紋章をつけた理由は判明しない

が、墓石には文久二年、藤原姓小椋新助と、安政七年正月二十九日梅屋渾春信女、小椋新助妻七拾才と自然石に彫りこまれている。小椋姓の先祖は木地師で文徳天皇の皇子、惟高(これたか)天皇に始まり、代々綸子といわれる文書や由緒書を持って全国で自由に仕事していた関係で菊の御紋章が彫りこまれたのではないだろうか。

保険料の払込が月遅れになつてはいませんか。簡易保険は、保険料の払込みがないまま三ヶ月を経過すると、保険契約の効力がなくなり、万一のことがあっても保障を受けることができません。

お持ちの保険料領収帳をもう一度お確かめの上、もしも月遅れとなつておりましたら、ご面倒でもすぐ郵便局にご連絡ください。さつそく郵便局からお伺いいたします。

※空気が透きとおつて一点の雲もない冬の夜の月はまっくらな空に、とぎすましたように輝き、肌を刺す寒さと重なって、ぞつとずるような美しさがありません。

さて今年もいよいよ最後の月、残り少ない日をかぞえながら、静かにこの一年をふりかえつてみる心の余裕はほしいものです。

※さてクリスマスから大みそかまでの日の短いこと。まるでかけ足で追いかけていられるようです。子どもたちは冬休み、へもういーくつ寝るとお正月…などとはしゃぎ回っているのに、お母さんにとってこの十二月ほどせかせかと、あわただしい月はありません。日が短かく、予定した仕事が多くなかと思うようにはかどらないこのごろ、いらいらしてそのせかせかした心の急がしさにふり回されます。お子さんにもできることはあります。手伝わせてみてはどうでしょうか。

文化財紹介

祝川の墓

文化財紹介 (13)

村のアルバム



第19回日田郡駅伝大会

第19回日田郡駅伝大会が11月30日におこなわれた。上津江役場～天瀬役場の8区間、45.1kmで優勝が争われ、過去2連勝している当村のチームは3連勝をと、毎日練習にはげみ大会にのぞみましたが、3位に終わりました。他の結果は1位天瀬、2位大山、4位上津江、5位前津江



冷たい風の中で

一少年サッカー

12月13日、午後1時から丸蔵小学校グラウンドで村内少年サッカー大会がおこなわれた。参加チームはAブロック丸蔵A・川辺A、Bブロック、丸蔵B・川辺B・C・鯛生の6チームで、子どもたちは冷たい風もなんのその、ゴールめざして走り回っていました。結果はAブロック川辺A、Bブロック鯛生の優勝でした。

雑記